

学校だより

No. 9

創造芳泉

～ いきいき わくわく 楽しい学校 ～



平成30年1月16日

岡山市立芳泉小学校・ひばり分校

<http://www.city-okayama.ed.jp/^hosens>

<http://www.city-okayama.ed.jp/^hibaris>

「なぜ」をもって走りだそう！



なぜ「お年玉」がもらえるのか、知っていますか。お正月には、年に一度、ご先祖様が「年神」として、家にやって来ると言われています。ご先祖様は、普段は山の上から、「山の神」として暮らしを見守り、そして春になると山から降りてきて「田の神」として米作りを見守り、新年になると「年神」として家に来て、家族を見守ってくれると言われています。

年神様が家に行くための目印が、「門松」です。いつもいる山からお迎えするので、松や竹など山に生えている植物を飾って「門松」を作って玄関先に置きます。

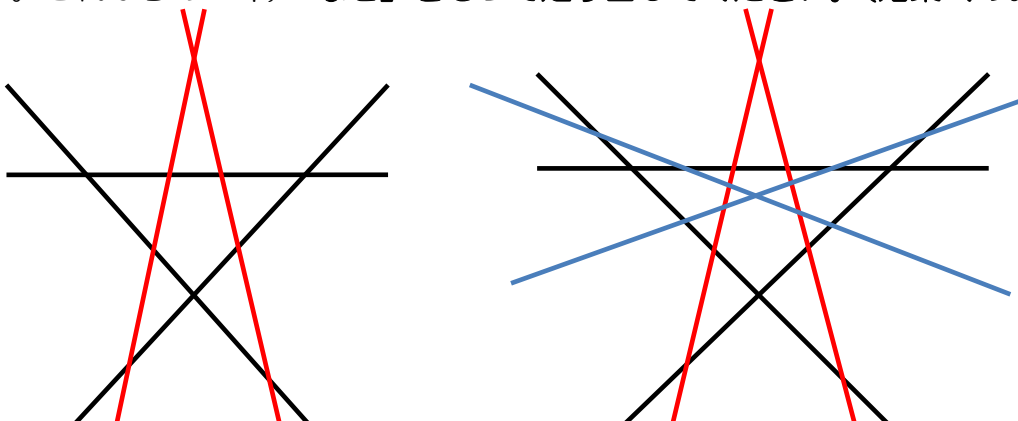
また、年神様が訪れる家が、神様にふさわしい場所になるように、田の神に見守られてできた稲のわらを使って、「しめ飾り」を作って玄関先に飾ります。

そして、家で年神様が落ち着く場所が必要です。それが、年神様の魂の形をモデルにした丸い「鏡餅」です。それで、お正月が終わって「鏡開き」として、年神様が宿っていた鏡餅をみんなで食べることで、家族が健康で過ごすことができると言われています。

その年神様のことを「どんど」とも言います。「どんど焼き」も「しめ飾り」などを焼いて、その火にあたり、灰をかぶったりすることで、健康になると言われています。

最後に、お年玉という言葉は、供えた鏡餅をお下がりとして、子どもたちにも食べさせたことから、「お年神様の魂をいただく」「お年魂」「お年玉」と変わっていったと言われています。

「お年玉」や「門松」「しめ飾り」「鏡餅」「どんど」が、「なぜ」あるのかを知ると、大切さが分かり、見たとき、もらったときの気持ちが変わってきます。学校での勉強や生活も、行き帰りの交通マナーやあいさつも、家でのいろんな習慣や約束も「なぜ」あるのかを考え、意味が分かると、大切さが分かり、気持ちが変わります。それがきっと、これからのあなたを成長させます。これからの一年、「なぜ」をもって走り出してください。(始業式のお話より)



1 2月の算数問題の解答例です。★印が隠れています。三角形の数を数えてみてください。

歴史を感じた 運営委員会主催 40周年記念集会

1月9日の始業式の後、運営委員会の児童が主催して、「芳泉小学校40周年記念集会」が行われました。創立当時には校歌も体育館もひばり分校や芳泉中学校もなかったこと、運動会が年2回行われていたことなど、初めて知ることがたくさんあり、教職員も含め、1万2千人が創ってきた歴史の重みを一人一人が感じることができる集会となりました。



お世話になりました 学校評価アンケート

学校評価アンケートは、保護者、児童、教職員を対象に行いました。芳泉小の今の姿がよりはっきりと見えてきますね。なお、◎は肯定的回答が90%以上、▲は50%未満の質問です。

保護者	児童
<ul style="list-style-type: none"> ◎安全に配慮して施設を整えている。↑ ◎授業参観や学校行事は参加しやすい。 ◎登下校に気をつけるように話している。 ◎教職員は分かりやすく丁寧な授業をしている。 ◎基礎学力が身につく指導である。 ◎教室は落ち着いて学習できる環境が整備されている。 ◎子どもは、朝ご飯を毎日食べている。 ▲児童は、進んであいさつをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校のきまりを守っている。 ◎漢字や計算の勉強をがんばっている。 ◎登下校のとき、安全に気をつけている。 ◎TV、ビデオ、ゲーム、インターネットの使い方を守って生活している。 ◎(1・2年生)家で宿題をきちんとしている。 ▲自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっている。
教職員 (「↑」は、昨年度より向上して90%以上となったもの)	
<ul style="list-style-type: none"> ◎学校の取組や、子どもたちの様子などは、学校便りや学年便り、校内掲示、ホームページで分かりやすく伝わっている。↑ ◎教職員は、校内研修や授業公開等で指導力が高まっている。↑ ◎学級では、いじめのない仲間づくりができています。↑ ◎子どもが思考力や表現力が身につくように、授業に工夫して取り組んでいる。↑ ▲子どもは、保護者や地域の人に進んであいさつをしている。 ▲子どもは、自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっている。 	

たよりのカラー版をホームページに掲載しています。ご覧ください。